

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401053		
法人名	有限会社 アイケア北海道		
事業所名	グループホーム アイケア手稲		
所在地	北海道札幌市手稲区富丘2条6丁目2-1 (電話) 011-691-1201		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年9月11日	評価確定日	平成19年9月27日

【情報提供票より】(平成19年8月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月30日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 12.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	26,000~35,800円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(72,000円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	450円
	夕食	500円	おやつ	50円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(8月29日現在)

利用者人数	16名	男性	3名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	6名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 77歳	最低	55歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくら内科南クリニック さくら歯科クリニック 西成病院
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町内会活動への参加や地域の人たちが参加した運営推進会議で地域に密着した活動が行われ利用者・家族の信頼構築に努力している姿が伺えるグループホームである。利用者一人ひとりが地域の中でその人らしく暮らせるように家族と協力しながら生活歴の把握や思いや意向を大切にしています。また、職員の研修意欲も高く年間計画に基づいて実施されていくよう計画されたり月間目標を掲げ目標達成に向けて取り組まれています。共用空間には、利用者が集い絵や塗り絵などの趣味を活かせる場や利用者同士ゆっくり談笑できるスペースが用意されている。運営推進会議は、評価日現在4回実施され、ホームの活動内容の報告などが議事録として取りまとめられています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、火災避難訓練を継続的に実施されるようとりあげられていましたが、年2回の避難訓練の実施や救急救命訓練の実施が継続的に行われ緊急時に備え実技を伴う訓練が実施されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者・職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解しており、よりよいケアサービスの質の向上に取り組む前向きな姿勢が伺えます。また、外部評価の結果についても運営推進会議の中で報告され、そこでの意見を具体的改善に活かす取り組みが行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。その主題は日々の活動及び自己評価・外部評価の報告について 地域包括支援センターからの要望・助言・質問 地域住民からの要望・助言・質問 利用者・家族からの要望・助言・質問 今後の予定について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「ふれあい日記」を毎月発行して、利用者一人ひとりの日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態、職員など日頃より家族に情報提供していると共に運営推進会議などで意見・要望や不安などが言いやすい雰囲気づくりをして、それらを運営に反映させ具体的改善に取り組んでいます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して行事に参加したり、包括支援センター主催の「ふれあいフェスティバル」、ホーム主催の夏祭りを通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や地域の役員が参加する運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることができるように職員間で話し合われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は年間目標、月間目標を具体的に掲げ理念の実践にむけて日々取り組みが行われている。		年間目標、月間目標を具体的に掲げ理念の実践にむけて日々取り組みが行われているので、職員個々の目標を設定してその達成度についてフォローアップすることも検討されてみては如何か。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して行事に参加したり、「ふれあいフェスティバル」など地域の行事に参加するなど認知症に対する理解や広報の為に地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解している。また、外部評価結果についても職員間で話し合われ具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは家族、町内会役員、民生委員、地域の住民代表、包括支援センター、管理者・職員で構成され具体的な意見交換が行われ議事録として維持されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市との連携の重要性を理解し、相談や連携について日々取り組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、連携が深められるように積極的に働きかける計画が行われています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ふれあい日記」や「一期一会」の発行で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介などそれぞれの家族に情報提供されている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		<p>「ふれあい日記」の活動は、特筆すべき点としてあげられます。今後とも継続されることを希望します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で、自己評価・外部評価の結果など家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいる。また、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間で全スタッフの紹介を掲示するなどして、来訪者・家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		今後は、職員の段階に応じて行政と連携した研修やOJTなどの職場内研修の開催など、より充実した研修の計画が行われている。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区の管理者連絡会や実践者研修、他施設との交流など開かれたグループホームである。		今後は、職員も他施設などと相互訪問や交流が行われるように地区の管理者との話し合いも行われている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と一緒に食事の準備をしたり、散歩や買物に出掛けるなど、利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、散歩や買い物、喫茶、ドライブなど外出の機会を多く作ったり本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書は、3ヶ月に一度定期的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、馴染みの理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれのかかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師と連携して、利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントで個々の利用者の生活歴が把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重して散歩や買い物、食事の準備、ぬり絵などの趣味など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしたり、和やかな雰囲気醸し出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週3回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		時には、番屋の湯に出掛け温泉気分を味わったりしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ぬり絵や絵画などの趣味への支援、日光浴、外食や散歩、買い物など心身のリフレッシュや気分転換のための機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、日常的な散歩、温泉など気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないで、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても点検が実施され対策されています。		今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについても把握され、支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	廊下や居間には、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、玄関前にはプランターで花が植えられベンチが配置され、日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮されている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせるような工夫がされている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。